



「ふもと会」の皆さんが植栽された『百日草』

7月号

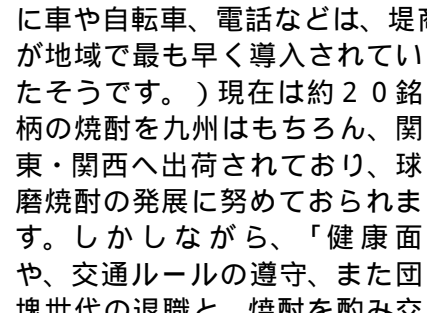
編集・発行
熊日多良木販売センター
(代)小出忠紹
尾方隆博 石田敏郎
小出堅太郎 岩崎稔
球磨郡多良木町大字多良木356-1
TEL 42-3355
FAX 49-1726
http://www.taragi.com/

祝 房の露株式会社 百周年記念



6月末に多良木町の焼酎蔵元「房の露株式会社=堤和弘代表取締役社長」が、創業100周年の記念公演と祝賀会をとり行いました。当時は「堤商店」といい、現在の焼酎の生産・販売の他、醤油や味噌も近年まで取り扱われていました。「現在ではスーパーなどで簡単に醤油は買い求められるが、以前は樽を運んで、1軒1軒瓶に入れて回っていました。」と社長の父、堤行信さん(同取締役相談役)は当時の苦勞を語っておられました。たしかに、現在のよう

に道路事情も良くはなかったし、車やバイクなども沢山あった訳でもないのだから、並大抵のことではなかったでしょう。(ちなみに車や自転車、電話などは、堤商店が地域で最も早く導入されていたそうです。)現在は約20銘柄の焼酎を九州はもちろん、関東・関西へ出荷されており、球磨焼酎の発展に努めておられます。しかしながら、「健康面や、交通ルールの遵守、また団塊世代の退職と、焼酎を酌み交わしながらのコミュニケーションが減ってきている」と社長が話されるように、米焼酎をはじめとするアルコール飲料の消費が低迷しています。「こういう時こそ、自己満足や勢いだけではなく、市場を現実視し、正確に分析する必要があります」と気を引き締められています。「地域と文化の中に焼酎をどう根差していくか、考えていかなければならない」とも話されて



いました。また、記念講演では、5

代目三遊亭円楽の総領弟子である三遊亭鳳楽師匠の独演会があり、社員をはじめOBや町民が古典落語の世界を楽しみました。その後にあった祝賀会では、社長から「先輩から受け継いできたものを大切に、更にやりがいや生き甲斐、また職人魂を感じられる職場づくりをしていきたい」と、次なる節目に向かって決意を新たにされていました。



(従業員さんに囲まれる4代目社長 堤和弘氏)

第17回「熊日杯」ビーチボールバレー大会開かれる

第十七回「熊日杯」ビーチボールバレー大会が七月十四日、十五日にかけて多良木町民体育館と多良木中学校体育館で行われました。熊日多良木販売センターの小出社長が「肥薩線開通百周年を迎えて、人吉駅前から市街地を当時の模様を再現し、大八車で新聞搬送とミニコミ紙の配布を行い皆さんに喜んでもらいました」と挨拶。
熊日球磨支局長の山口尚久氏は「今回は、一緒に参加させてもらいます」と挨拶され、スマイルチームの尾方選手が力強く選手宣誓をされて試合開始。今回も四ブロックで総当たり戦での試合でした。三十五チーム百九十一名の選手による二日間の熱戦が繰り広げられた結果下記のチームが入賞されました。入賞されたチームの皆さん、おめでとうございます。



【男子49歳以下の部】優勝
錦ファイヤーチームのみなさん



【男子50歳以上の部】優勝
あららチームのみなさん



【女子49歳以下の部】優勝
卑弥呼チームのみなさん



【女子50歳以上の部】優勝
人吉あじさいチームのみなさん

男子50歳以上の部	男子49歳以下の部	女子50歳以上の部	女子49歳以下の部
優勝 あらら	優勝 錦ファイヤー	優勝 人吉あじさい	優勝 卑弥呼
準優勝 一の木谷	準優勝 スマイル	準優勝 レインボー	準優勝 リフレッシュ
第3位 桜草	第3位 虹	第3位 サラダ	第3位 アリエス
第4位 土曜会	第4位 クレシェンド	第4位 ハートB	第4位 フラッシュ

木希記

十九日、熊日本社で行われた「緑のリボン賞」贈呈式。あさぎり町の「ふもと会」から

原田キラク代表と夫の重利さんが出席、緑のリボン賞を受け取りました。同会は十八年前から県道錦湯前線沿いに花を植え、環境美化に努めています。きっかけはキラクさんが退職を機に「地域への恩返し」と自宅前に植え始めたこと。今では会員も十人に増え岡麓地区の約三百人がフラワーロードに百日草やヒマワリなど季節の花が美を競っています。梅雨が早く明け今年には特に水やりや草取りなどの世話が大変なようです。それが通る影がかりの車を止めて、携帯のカメラで撮る励みにするとか、体を壊さないようにと、おもしろい話も聞かれました。お話を聞くと、自分たちでやるべきことを、地域を明るくしてくれ、その原動力を、緑のリボン賞です。

(X)

まだこないかなあ～ソーメン流し



多良木幼稚園

7月16日(水)多良木幼稚園(那須律子園長)で恒例のソーメン流しがありました。竹を割ってその中に水を流し、ソーメンやトマト、ゆで玉子などを流すと、園児たちは大はしゃぎで、流れてくるソーメンなどを取って美味しいように食べていました。特にトマトは自分たちが育てたこともありうれしそうでした。

子どもの願いを叶えて下さい



町内の小学生が多良木町役場庁舎玄関前に“七夕かざり”を作成し飾りました。これは、平成19年度から始まった「放課後子ども教室」に参加している子どもたちが各小学校で「短冊に願いを書いた物」を代表者が持ち寄り飾り付けて設置したものです。「放課後子ども教室」

とは、「安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを推進する」事業です。

例えば伝承遊び、縄跳び、マスコット作り等です。詳しくは教育振興課、担当、今井一久さんまで。

多良木優勝、岡原準優勝で大会盛り上がる

第58回郡民体育祭、四半的弓道が7月12日5町村15チームが参加して、あさぎり町岡原のもみじ館で行われました。結果は、多良木町が優勝、準優勝があさぎり町(岡原チーム)。優勝した多良木町の四半的協会会長、淵田征勝さんは「六月から郡体に向けて練習をしてきました。去年も優勝し今年も優勝出来たのでよかった。また来年も優勝出来るように頑張っていきたい。」と語られました。

惜しくも、準優勝のあさぎり町(岡原チーム)の四半的協会会長、川辺昭さんは「一昨年までは3年連続優勝していたが、去年からは多良木町に負けているので来年の郡体は優勝出来るように頑張りたい。」と来年の意気込みを語られました。



(真剣に的に向かって射る岡原チーム)

両協会とも会員を募集されています。興味のある方は、是非お尋ね下さい。

あと2年で20年、体が続く限り頑張りたい

伊豆英一社長から表彰される原田キラクさんと重利さん



祝熊日緑のリボン賞
ふもと会
あさぎり町岡原南、岡麓

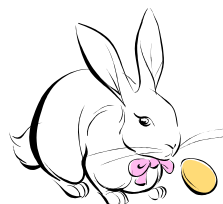
7月19日(土)「第97回熊日緑のリボン賞」の贈呈式が熊日本社で行われました。この緑のリボン賞は、長年にわたり地域の環境美化、奉仕活動をされている団体・個人に贈られました。「ふもと会」代表の原田キラクさんとご主人の重利さんが出席されました。「ふもと会」は、幸野溝沿いの県道約300mに花を植栽され道行く人々の心を和ませています。これまでに励みになったのは、きれいな花だと車から降りて見る人、暑い作業中に冷たい飲み物を差し入れてくれる人、「とてもきれいですね」と喜んでもらえること、大変なのは、夏場の水まきで、頑張り過ぎて、体調を崩すことも。



(笑顔が可愛い柁人くん)

げじま しゅうと
源嶋 柁人くん 平成20年2月27日生
父：源嶋康浩さん 母：弥穂さん
多良木町久米
両親から
すくすく元気に育ってネ

まかせてよ21世紀



宿泊学習

球磨養護学校

本校高等部で1年おきに宿泊学習を行っています。今年度は7月16、17日に湯前町グリーンパレスで行いました。暑い中、B&Gプールで泳いだり、ゴーカートで遊んだり夜は花火を楽しみました。夕食は各学年で協力しあってカレーライスやバーベキュー作りに汗をたくさん流しながら、それぞれの味を比べあっていました。

【生徒感想】

「3年生にとっては最後の宿泊でした。僕が心に残ったことは夕食でバーベキューをしたことです。とてもおいしくできました。だけど、ご飯はこげてしまったので、僕は焼きおにぎりにしてたべました。この宿泊で学んだことを思い出に卒業しても頑張っていきたいと思います。」



夕食の準備に忙しい高等部の皆さん

(原稿・写真提供：球磨養護学校)